

## 地方独立行政法人岡山県精神科医療センター 業務方法書（案）

### 目次

- 第1章 総則（第1条・第2条）
- 第2章 業務の方法（第3条－第5条）
- 第3章 業務の委託等（第6条－第8条）
- 第4章 雑則（第9条）
- 附則

### 第1章 総則

#### （目的）

第1条 この業務方法書は、地方独立行政法人法（平成15年法律第118号。以下「法」という。）第22条第1項及び岡山県地方独立行政法人施行細則（平成19年岡山県規則第 号）の規定に基づき、地方独立行政法人岡山県精神科医療センター（以下「法人」という。）の業務の方法について基本的事項を定め、その業務の適正な運営に資することを目的とする。

#### （業務運営の基本方針）

第2条 法人は、法第25条第1項の規定により岡山県知事（以下「知事」という。）から指示された中期目標に基づき、業務の効果的かつ効率的な運営に努めるものとする。

### 第2章 業務の方法

#### （病院の設置及び運営）

第3条 法人は、精神障害者の医療、保護及び発生の予防並びにこれらに必要な研究を行うため、地方独立行政法人岡山県精神科医療センター定款（以下「定款」という。）第17条に定める病院を設置し、これを運営するものとする。

#### （法人の行う業務）

第4条 法人は、定款第18条の規定に基づき、次の業務を行うものとする。

- (1) 精神科及び神経科に関する医療の提供
- (2) 精神科及び神経科に関する医療の調査及び研究
- (3) 精神科及び神経科に関する医療技術者の研修
- (4) 前3号に掲げる業務に付帯する業務

2 法人は、前項の業務の他、同項の業務の遂行に支障のない範囲内で、その建物の一部、設備、器械及び器具を法人に勤務しない医師等の診療又は研究のために利用させることができる。

3 法人は、法人の目的の範囲内において、法人以外の者から受託し、又は法人以外の者と連携して、調査及び研究並びに業務を行うことができる。

#### （緊急時の知事の要求）

第5条 法人は、定款第19条の規定に基づき、知事から定款第18条第1号又は第2号に掲げる業務のうち必要な業務の実施を求められたときは、その求めに応じ、当該業務を実施することとする。

### 第3章 業務の委託等

(業務の委託)

第6条 法人は、定款に規定する業務の一部を外部の者に委託することにより効率的にその業務を遂行することができるものと認められる場合、業務の一部を委託することができる。

(委託契約)

第7条 法人は、前条の規定により業務を委託するときは、受託者と業務に関する委託契約を締結するものとする。

(契約の方法)

第8条 法人は、売買、賃借、請負その他の契約を締結する場合には、一般競争に付するものとする。ただし、契約の性質又は目的が一般競争に適しない場合その他法人の規定で定める場合は、指名競争に付し、又は随意契約若しくはせり売りによることができるものとする。

第4章 雑則

第9条 法人は、この業務方法書に定めるもののほか、業務に関し必要な事項については、会計規程その他の法人の規程に定めるものとする。

附 則

この業務方法書は、知事の認可の日から施行し、平成19年4月1日から適用する。